

# 1-1 医大経由二本松線

## 1) 見直しの概要

表 路線の課題・見直しの方向性等

項目	概要
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>医大経由二本松線は平均乗車密度が低い(3.9)が、一定の運行本数を確保することで輸送量を確保(36.6)。</li> <li>福島大学付近にバス停を設置しているものの、乗り入れていないこともあり学生・職員の利用は少ない。</li> <li>現状大学への移動手段は鉄道がメインとなっているものの、悪天候時などの遅延・運休等により通学への影響が発生する状況にあり、複数の移動手段の確保が求められる状況。</li> </ul>
見直しの方向性	①福島大学への乗り入れ、及び大学の講義に合わせたダイヤの見直し
実施時期	令和7年10月

表 見直し概要

項目	現状	事業実施
対象路線名	①医大経由二本松線	①医大経由二本松線
運営主体	福島交通(株)	福島交通(株)
運行事業者	福島交通(株)	福島交通(株)
事業の種類	一般乗合旅客運送事業	一般乗合旅客運送事業
運行形態	定時定路線	定時定路線
起点・終点	福島駅東口・若宮二丁目	
主たる経由地	医大病院、福島大学、安達高校前、二本松駅前	医大病院、福島大学(構内)、安達高校前、二本松駅前
運行回数(平日)	①9.5回/日	①8.0~12.0回/日
運賃	●円~●円	●円~●円
備考		

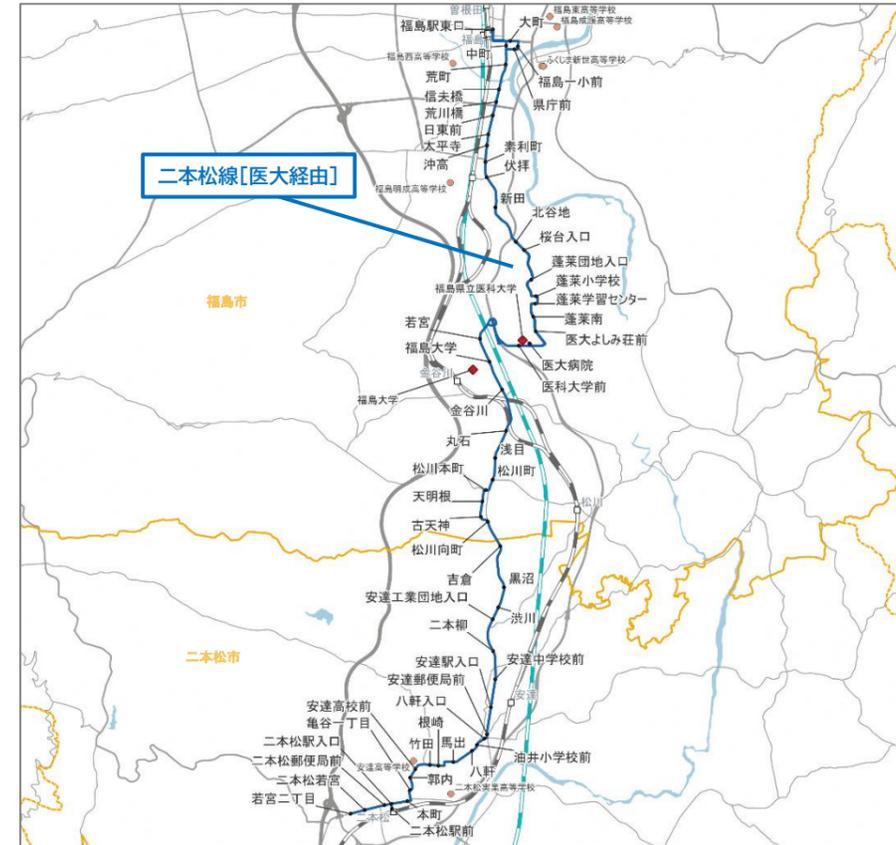
※赤字が変更箇所

表 見直しによる効果と課題

項目	概要
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>医大経由二本松線の利便増進特例の適用に期待(国庫補助の充当)</li> <li>福島大学へのアクセス性の向上</li> </ul>
引き続き検討が必要な課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校側との乗り入れに関する協議</li> <li>学生と連携したバス停デザイン、周知方策の検討</li> </ul>

## 2) 運行概要図

事業実施前



事業実施後



## 1-2 塩沢線

### 1) 見直しの概要

表 路線の課題・見直しの方向性等

項目	概要
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>塩沢線は平均乗車密度が低く（1.7）、輸送量も 15.0 を大きく下回る（6.6）。</li> <li>市街地内での利用が多くない状況にあるが、市街地には商業施設等をはじめ目的地となる主要な施設が複数立地していることから、市街地内での利便性向上による利用拡大を図ることが必要。</li> </ul>
見直しの方向性	①塩沢線の市街地内の経路を見直し
実施時期	令和7年10月

表 見直し概要

項目	現状	事業実施
対象路線名	①塩沢線	①塩沢線
運営主体	福島交通(株)	福島交通(株)
運行事業者	福島交通(株)	福島交通(株)
事業の種類	一般乗合旅客運送事業	一般乗合旅客運送事業
運行形態	定時定路線	定時定路線
起点・終点	二本松市役所・塩沢温泉	<b>二本松営業所</b> ・塩沢温泉
主たる経由地	二本松駅入口、二本松駅前、安達高校前、鉄扇橋	二本松駅入口、 <b>二本松市役所</b> 、二本松駅前、安達高校前、鉄扇橋
運行回数（平日）	①4.0回/日 ②1.0回/日	①2.0~6.0回/日 ②1.0~3.0回/日
運賃	●円~●円	●円~●円
備考		

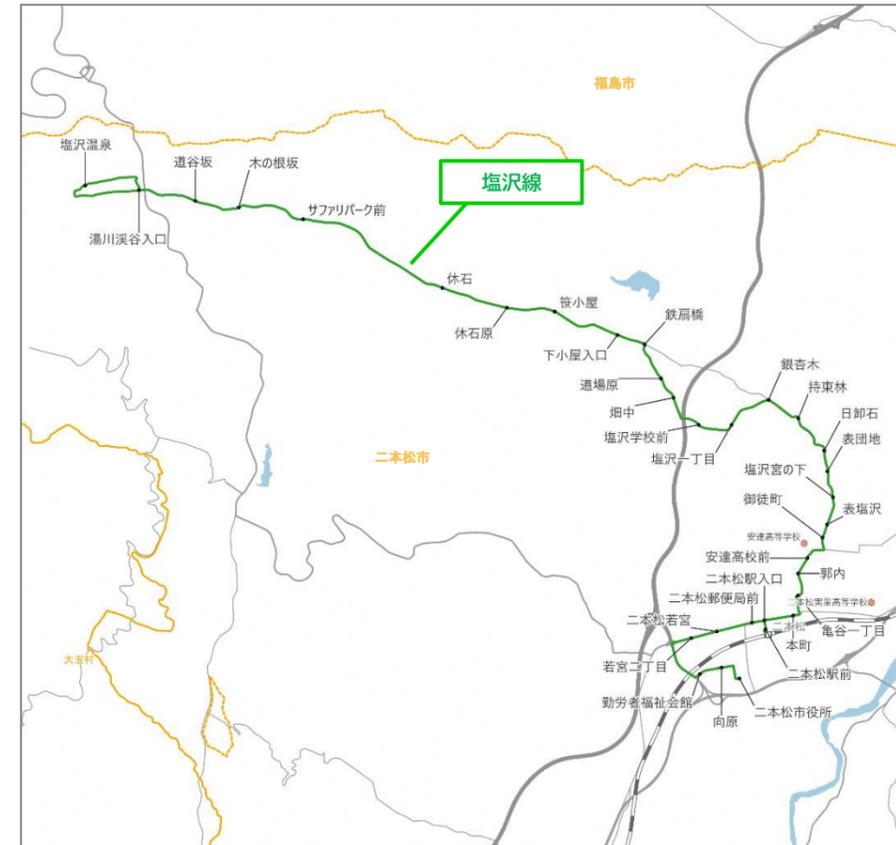
※赤字が変更箇所

表 見直しによる効果と課題

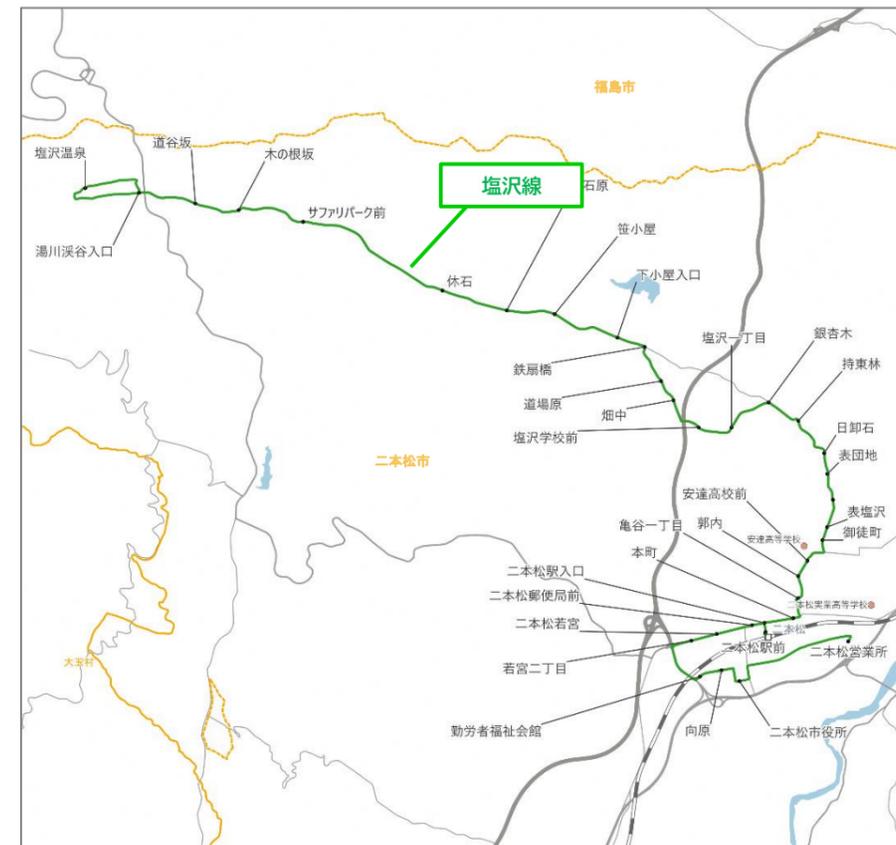
項目	概要
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>主要な目的地への延伸により沿線住民の利便性が向上</li> </ul>
引き続き検討が必要な課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の計画に位置付ける循環路線の新設との整合</li> </ul>

### 2) 運行概要図

#### 事業実施前



#### 事業実施後



### 1-3 大平経由小浜線・小浜線・針道経由東和小学校線

#### 1) 見直しの概要

表 路線の課題・見直しの方向性等

項目	概要
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>大平経由小浜線、針道経由東和小学校線ともに平均乗車密度が低く（1.1、1.5）、輸送量も20を下回る（3.3、13.9）。小浜線は地域間幹線系統ではないものの、同様に利用が少ない状況にある。</li> <li>市街地内での利用が多くない状況にあるが、市街地には商業施設等をはじめ目的地となる主要な施設が複数立地していることから、市街地内での利便性向上による利用拡大を図ることが必要。</li> </ul>
見直しの方向性	①大平経由小浜線、小浜線、針道経由東和小学校線の市街地内の経路を見直し
実施時期	令和7年10月

表 見直し概要

項目	現状	事業実施
対象路線名	①大平経由小浜線 ②小浜線 ③針道経由東和小学校線	①大平経由小浜線 ②小浜線 ③針道経由東和小学校線
運営主体	福島交通株	福島交通株
運行事業者	福島交通株	福島交通株
事業の種類	一般乗合旅客運送事業	一般乗合旅客運送事業
運行形態	定時定路線	定時定路線
起点・終点	①若宮二丁目・岩代支所 ②若宮二丁目・岩代支所 ③若宮二丁目・東和小学校	①二本松営業所・岩代支所 ②二本松営業所・岩代支所 ③二本松営業所・東和小学校
主たる経由地	①二本松駅前、大平農協前 ②二本松駅前、神明石 ③二本松駅前、藤、針道中央	①二本松駅前、二本松市役所、大平農協前 ②二本松駅前、二本松市役所、神明石 ③二本松駅前、二本松市役所、藤、針道中央
運行回数（平日）	①3.0回/日 ②13.0回/日 ③11.5回/日	①1.0~5.0回/日 ②11.0~15.0回/日 ③10.0~13.0回/日
運賃	●円~●円	●円~●円
備考		

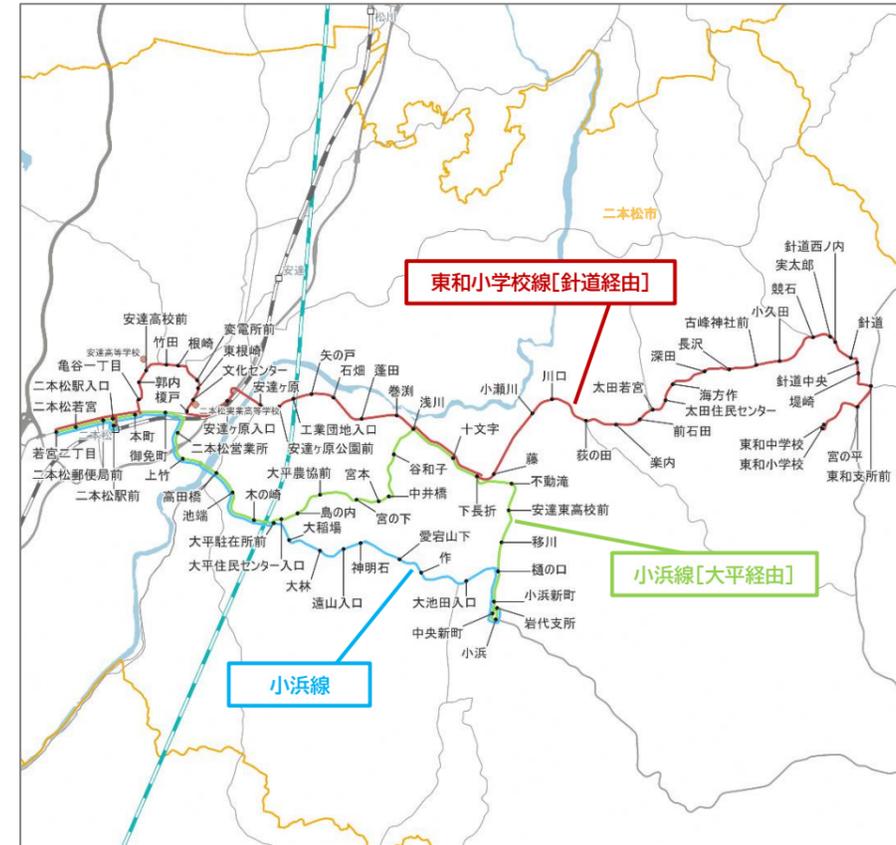
※赤字が変更箇所

表 見直しによる効果と課題

項目	概要
効果	・主要な目的地への延伸により沿線住民の利便性が向上
引き続き検討が必要な課題	・市の計画に位置付ける循環路線の新設との整合

#### 2) 運行概要図

事業実施前



事業実施後

